

2018

6年 フラッグフットボール



松戸市立八ヶ崎小学校

フラッグフットボールは・・・

アメリカンフットボールのルールを簡単にしたボール運動である。危険なタックルの代わりにフラッグを取るようにし、安全に配慮したボール運動である。

児童から見ると・・・

- ・ボールを持って走ることができる。
- ・全員に役割があるため、チームの一員として貢献できたという実感をもてる。
- ・自分たちの考えた作戦が成功した時に、仲間と一緒に喜びを味わうことができる。
- ・作戦によっては、投捕の技能や走る能力が高い児童のみが活躍し、運動量や楽しみに偏りが出てしまう運動でもある。



親しみやすい



苦手意識に
繋がってしまう

学習カード

教材

学習過程

課題設定

本校では・・・

☆ 自分達のチームの特徴に応じた作戦を考え、実践できるようにする。

《ルール》

☆始めから提示するルール ⇒ **シンプルなものにする**

- ・攻め4人、守り2人
- ・スタートの合図で試合開始。
- ・初めにパスを出した人はフィールドには出られない。
- ・パスはスタートゾーンの中から1回までとする。
- ・攻めは全員フラッグを2枚腰につける。フラッグを取られるか、サイドラインから出るまでに前進した地点の得点が入る。(1~5点)
- ・1チーム3回攻撃したら攻守交代
- ・1プレー30秒。プレー毎に作戦タイム(ハドル)を30秒とする。
- ・1プレー毎にメンバーを交代する。
- ・守りは1点ゾーンと3点ゾーンに一人ずつとし、そのゾーンから出ることはできない。
- ・守りはスタートゾーンに入ってはいけない。

★追加の可能性のあるルール

⇒**児童の困り感・必要感**に応じて、**教師が提案・追加**する。

児童の困り感	追加のルール	個人やチームのメリット
・QBが相手にわかると、味方へのパスも読まれてしまう。	・スタートゾーンの中では何度手渡ししてもよい。	・相手の守備を攪乱でき、作戦の幅が広がる。
・同じ人ばかり得点している。 ・最後まで逆転の可能性がほしい。	・全員得点でボーナス得点(3点)	・たくさんの人が関わって得点をとろうとするようになる。
・せっかく前進したのにボールが外に出ると無得点になってしまう。	・ボールに一度でも触れていたらその地点の得点とする。	・パスやランによる突破に挑戦しやすくなる。
・守りのゾーンが決まっていて、簡単に突破される。	・守りはどのゾーンからスタートしてもよい。	・最後まで相手を追うことで失点を減らせる。

※単元の前半で安定した攻防ができるように、ルールを工夫し、単元後半で各チームの得意な攻撃を実践できるようにする。

《教具》

- ・ボール(操作しやすいように空気を少しぬいておく)



使用球
モルテン H1X1200

- ・フラッグ・ベルト (2枚を腰の位置につける)

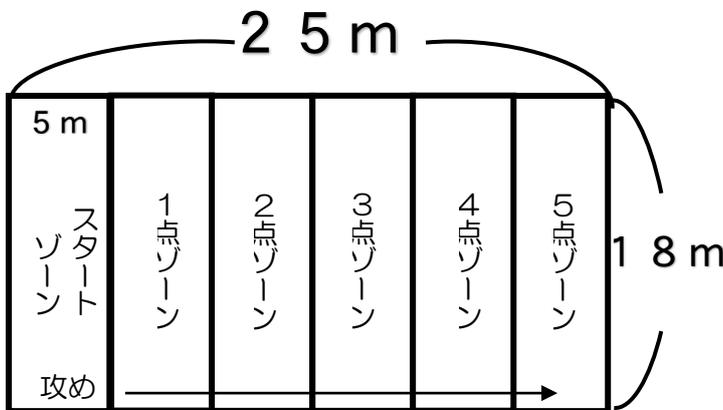


日本フットボール協会寄贈品

- ・カゴの中身



- ・コート



- ・作戦ボード(ホワイトボードにビニールテープでコートを貼ったもの)
- ・マグネット
(メンバーの写真を貼付)



- ・マーカーペン

- ・ポケットファイル(作戦ファイル)
(作戦カード, ルールブック, 授業で掲示した写真等)



教具の作り方や材料の値段などについては、本校までお問い合わせください。

指導計画 『フラッグフットボール』（9時間）

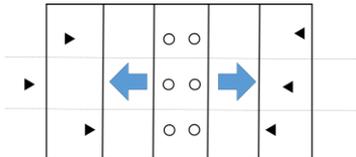
時間	1	2	3	4	5	6	7（本時）	8	9	
	知識の獲得・技能向上 自分たちのチームの特徴をゲームを通して知る					チームの特徴に応じた作戦を考案し実践する				
0 6 9 16	オリエンテーショ ン ・単元を通した 学習のねらい ・ゲームの行い 方の説明 ・学習のルール ・用具の扱いに ついて ・試しのゲーム ・課題をつかむ (チームの課題)	・あいさつ ・用具の準備 ・ウォーミングアップ ・健康観察 ・課題確認 ・作戦確認（ゲームで試す作戦を選ぶ。）※4時間目以降					ゲーム1 第2次リーグ戦			
		ゲーム1 第1次リーグ戦 <課題解決学習> 教師が動き方のポイントを押さえて指導する。 <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パスの投げ方・受け取り方</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">空いている場所に動く・おとりの動き</div> </div> <予想される練習> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1対1 ランニングキャッチ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2対1 ストップキャッチ</div> </div>					<課題解決学習> 教師が示した練習方法の中から解決方法を児童が選択又は考案できるようにする。 <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">得意な作戦を実践する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">特徴に応じた作戦を実践する</div> </div> <予想される練習> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">チームやペアチームと作戦練習</div>			
32 38 45	ゲーム2 第1次リーグ戦 ・反省（3分間学習カードに記述。はじめ、なか、おわりは5分間） ・まとめ ・クールダウン ・片付け ・あいさつ					ゲーム2 第2次リーグ戦				

体育の学力（評価規準）

技能	On the ball skill	①フリーの味方にパスを出すことができる。
		②パスを受けて、フラッグを取られないようにして走ることができる。
	Off the ball movement	③得点しやすい場所へ移動することができる。
		④ボール保持者と守備の間に体を入れてサポートすることができる。
態度	①集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 ④用具や器具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。	
知識、思考・判断	①ゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ②チームの特徴に応じた作戦を選び、自己の役割を確認している。	

課題解決のために必要と予想される練習方法

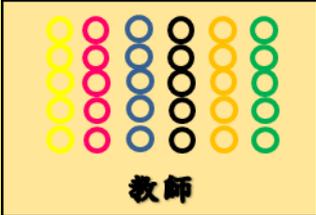
別付 DVD に映像有 

①	 1対1	<p>コートの外に向かってフラッグを取られないようにして走る。フラッグを取ったり、取られないようにかわしたりして、ボールを前に運ぶ技能を身に付けることを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">○攻め ▲守り</p> 
②	 ランニングキャッチ	<p>2人1組で行う。パスを投げる位置にフラフープを3つ置き、そこに向かってパスを出す。狙った場所へパスする技能と落下点を予測して動くことと、パスをキャッチする技能を身に付けることを目的とする。</p>

③	 2対1	<p>攻め2人のどちらか一方がボールを持って走る。フラッグを取られないようにして守り1人を抜いてコートの外まで運ぶ。フェイクをかける技能と守りの前に立って、味方の道をつくる技能を身に付けることを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">○攻め ▲守り</p>
④	 ストップパス	<p>攻め4人，守り2人で行う。ボールを投げる人が「ストップ」と言ったら，守りの2人は動きを止める。攻めの2人は空いている所に動き，5秒以内にパスをもらう。パスをもらいやすいポジションへ移動する動きを身に付けることを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">○攻め ▲守り</p>

展開 1 (1時間目 オリエンテーション)

- ・単元を通してのねらいを伝え、学習のめあてをもたせるようなものにする。
- ・用器具の扱い方について指導する。
- ・フラッグフットボールにおけるルールを指導する。

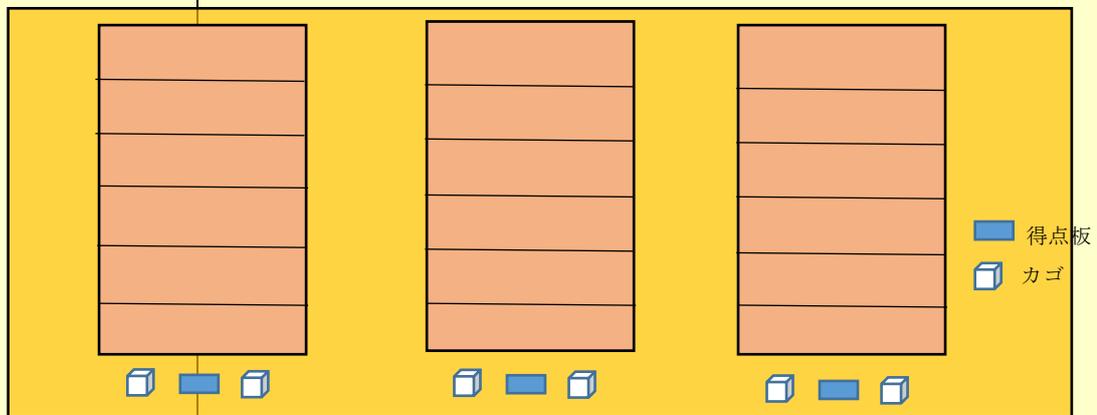
時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
20	あいさつ (整列)	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声で元気のよい挨拶で学習が始められるように伝える。 ○整列、集合場所、並び方、服装、持ち物の置き場所について確認する。 ・ビブスはズボンにしまう。 ・ベルトが緩んでいないか確認する。 ・フラッグが2枚あるか確認する。
	 教師	
	健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察を行い、本日の学習内容とねらいを確認する。 (ハンドボールの行い方を確認し、ボール慣れの運動の仕方を覚える)
	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通じた学習の課題を知る。 ・学習の内容やねらい、進め方を知る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 試しのゲームを通してチームの課題を見付けよう。 </div>	
	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を提示し、ゲームを通してチームの課題を見付けることを伝える。個人の課題ではなく、チームとしてどのような課題があるのかを考えさせるために、声や気合いなどの態度面ではなく、技能面での課題をチームで見付けられるよう支援する。
	試しのゲームについての説明	<ul style="list-style-type: none"> ○試しのゲームはペアチームと2試合行うことを説明する。 ○ゲームのルールについて以下の内容を説明する。 ・攻め4人、守り2人。 ・スタートの合図で試合開始。初めにパスを出した人はフィールドに出ることはできない。 ・攻めは、全員フラッグを2枚腰に付けた状態で、一人がボールを持ってスタートゾーンから走り出し、タッチラインを目指す。(または、走り出してからボールをキャッチする)途中でフラッグを取られた場合は、その地点の得点が入る。ボールを持っている人が横のラインを踏んだり、出てしまったりした場合もその地点の得点が入る。 ・パスはスタートゾーンの中から1回までとする。 ・全部で3回攻撃することができる。(1チームが3回攻めたら攻守交代)

学習の場、用具の準備をする

- ・ 1回のプレーごとにメンバーを交代する。
- ・ 1回のプレーごとに作戦タイムをとる。(30秒間)
- ・ 30秒以内に1回のプレーを終わらせる。
- ・ 守りは1点ゾーンに一人と3点ゾーンに一人から始める。
- ・ 守りはスタートゾーンに入ってはいけない。(手を伸ばしてフラッグを取ってもいけない)

○得点板、チームのかご(ファイル、水筒を入れておく)の運び方や運ぶ場所などを確認する。

※得点板、チームのかごは1人で持つ。所定の場所に置くことを確認し、運ぶメンバーを決める。



ウォーミングアップ

○単元を通して、教師のかけ声に合わせてウォーミングアップをするので、広がり方、内容等を確認する。

- ・ 特に使う部位(手の指、手首、肩、足首、アキレス腱など)を十分ほぐす。

ボール慣れの運動



①しっぽとり

チーム20秒程度しっぽを取り合う。



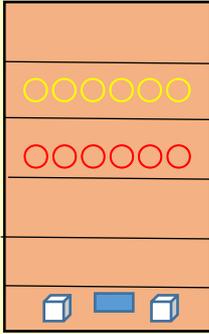
②前後左右ボールキャッチ

2人一組になり、1人がボールを投げる方向をいいながら、前・後ろ横・右・左にボールを投げ、もう1人がボールをキャッチする。

- ・ 2時間目以降は、用具の準備をしてウォーミングアップに入るが、1時間目は、ウォーミングアップ終了後、一度集合し、みんなで用具の準備をする。

15 チームでの確認

○各チームのホームコートに移動し、試合に出るメンバーの確認をするように指示をする。

<p>10</p>	<p>試しのゲーム①</p>	 <p>ゲームを始める前と終わったときのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コート中央に整列する。 ・笛の合図で「お願いします！」 ・コート内で円陣を組んで気合いを入れる。 ・ゲーム終了の笛で全員がコート中央に整列「ありがとうございました」
	<p>ルール確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールで困ったことの確認 <p>○水分補給と休憩をしながら、次のゲームに向けての確認をさせるために、話し合いの手順に沿って話を進めるように指示する。</p>
<p>振り返り</p> <p>① チームでの話し合い</p> <p>② 個人で学習カードに記入</p> <p>③ 学習のまとめ(成果と課題)</p> <p>④ 発表をする</p> <p>片付け</p> <p>クールダウン</p> <p>あいさつ</p>	<p>試しのゲーム②</p> <p>○教師の声かけにより、攻撃に関する課題意識をもたせる。</p> <p>○説明を聞くために、はじめの形に整列するよう指示を出す。整列と集合の違いについて、必要に応じて説明する。</p> <p>○攻撃に関して、何がどのようにうまくいったのか、うまくいったときはどんな状況だったのかということを書き具体的に書くことができるよう支援して回る。</p> <p>○チームの課題について、話し合ったことを発表させるために、チームごとに指名をする。</p> <p>○各自が見つけた課題を全体で共有しあうとともに、ゲームで勝つためにはたくさん得点をとる必要があることに気付かせ、攻撃に対する課題意識をもたせるために、発問の仕方に気を付ける。</p> <p>○安全に留意させ、役割分担をして素早く片付けさせる。</p> <p>○怪我の有無を確認するとともに使った部位を中心にほぐすよう指導する。</p> <p>① 伸び ② 肩回し ③ 手首足首 ④ 深呼吸</p> <p>○毎時間、元気よく挨拶をして終わることができるよう伝える。</p>	

展開2 (2~5時間目)

時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
7	あいさつ	○大きな声で元気のよい挨拶で学習が始められるように伝える。
	学習の場の準備	○素早く安全に気を付けて準備ができるようにさせるために、役割分担を決めておく。
	ウォーミングアップ	・ストレッチ(使う部位を中心に) ・しっぽ取り
	・ストレッチ	・前後左右ボールキャッチ
	・ボール慣れの運動	・2対1等(チームによって異なる)
	健康観察	○顔色を観る。季節によっては水分補給をさせる。
30	課題確認	・前回の授業での課題を確認する。
	・学習カードを持って集合する	・新たなルールの確認 ○何人かを指名して、ゲームで何を意識させるのかを発表させ、本時のめあてを再確認する。 ・学習カードのコメントの返事を読んでから各コートへ行く。
		< 2時間目 > パスで攻めたときの良さを知ろう！
		< 3時間目 > パスをキャッチして得点しよう！
		< 4時間目 > パスを受けた後の攻めき方法を考えよう！
		< 5時間目 > サポートの動きを使ってたくさん点をとろう！
	作戦会議	○時間が1分と短いので、簡単な確認でよいことを伝える。
	ゲーム①	○良いプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何が良かったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。 ○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。
	課題解決学習	
	①整列し教師の話聞く。	○ゲームの前に確認した状況があったのかどうか、また、そのような時にどうしたのかを話し合う。また、新たに明らかになった課題についても時間があれば話し合うよう伝える。
	②チームで話し合いをする。	○話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師

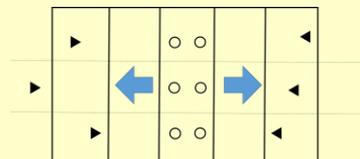
③集合しチームごとの課題を確認する。

④課題を解決するための練習をする。

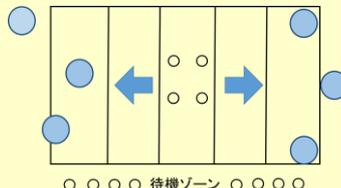
が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。

○子どもたちの課題に応じて教師が練習メニューを紹介する。

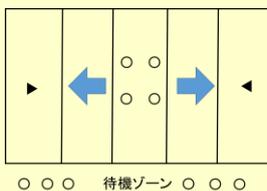
・ 1対1



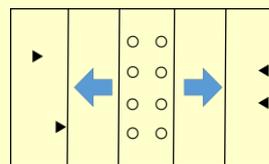
・ ランニングキャッチ



・ 2対1



・ ストップパス



ゲーム②

○良いプレーや練習でやったことを活かしていたチームは大きさに褒めて、全体に共有する。また、他のチームにも真似をさせるために、みんなで喜んでいるチームを称賛する。

8

振り返り

①チームでの話し合い

②個人で学習カードに記入

③学習のまとめ
(成果と課題)

④発表をする

片付け

クールダウン

あいさつ

○学習カードの項目に沿ってまずはチームで反省を行い、同じことを記入するように伝える。最後の個人の課題は、チームの課題を克服するために自分がどうなればよいのかということを自分で考えて書くように伝える。

○「何が、どのように」と、具体的に書くことができるよう声をかけて回る。

○本時のめあてに対して、他のチームがどのように振り返りをしているのかをよく聞くように伝える。また、新たな課題にも気付くことができるようにするために、チームごとの課題を学級全体で共有しあう場を設ける。

○安全に留意させ、役割分担をして素早く片付けさせる。

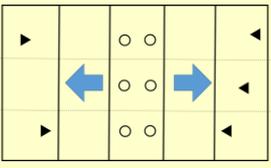
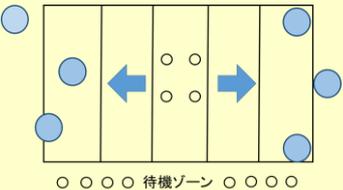
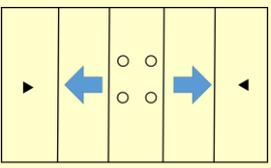
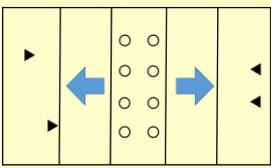
○怪我の有無を確認するとともに使った部位を中心にほぐすよう指導する。

① 伸び ② 肩回し ③ 手首足首 ④ 深呼吸

○毎時間、元気よく挨拶をして終わることができるよう伝える。

展開3 (6時間目～9時間目)

時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
7	あいさつ 学習の場の準備 ウォーミングアップ ・ストレッチ ・ボール慣れの運動 健康観察	○大きな声で元気のよい挨拶で学習が始められるように伝える。 ・素早く安全に気を付けて準備ができるようにさせるために、役割分担を決めておく。 ・ストレッチ(使う部位を中心に) ・しっぽ取り ・前後左右ボールキャッチ ・2対1等(チームによって異なる) ○顔色を観る。季節によっては水分補給をさせる。
30	課題確認 ・学習カードを持って集合する ・学習カードを持って集合する。 作戦会議 ゲーム① 課題解決学習 ①チームで話し合いをする。 ②集合しチームごとの課題を確認	○前回の授業での課題を確認する。 ・新たなルールの確認 ○何人かを指名して、ゲームで何を意識させるのかを発表させ、本時のめあてを再確認する。 ・学習カードのコメントの返事を読んでから各コートへ行く。 ＜6時間目＞ サポートの動きを使って攻めよう！ ＜7時間目＞ チームの得意な作戦を見付けよう！ ＜8時間目＞ チームの得意な作戦で点をとろう！ ＜9時間目＞ チームの特徴に合った作戦を使って点をとろう！ ○時間が1分と短いので、簡単な確認でよいことを伝える。 ○良いプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何が良かったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。 ○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。 ○ゲームの前に確認した状況があったのかどうか、また、そのような時にどうしたのかを話し合う。また、新たに明らかになった課題についても時間があれば話し合うよう伝える。 ○話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師

<p>する。</p> <p>③チームごとに練習をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための練習方法を自分たちで選ぶ。 ・ペアチームと協力して課題解決ができるようにする。 	<p>が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。</p> <p>○子どもたちの課題に応じて教師が練習メニューを紹介する。</p> <p>○チームやペアチームと作戦練習をする場合はチームの課題に適しているのかを確認し、声かけをする。</p> <p>・ 1対1</p>  <p>・ランニングキャッチ</p>  <p>○ ○ ○ ○ 待機ゾーン ○ ○ ○ ○</p> <p>・ 2対1</p>  <p>○ ○ ○ 待機ゾーン ○ ○ ○</p> <p>・ ストップパス</p> 
<p>ゲーム②</p>	<p>○チームやペアチームと作戦練習をする。</p> <p>○良いプレーや練習でやったことを活かしていたチームは大げさに褒めて、全体に共有する。また、他のチームにも真似をさせるために、みんなで喜んでいるチームを称賛する。</p>
<p>8 振り返り</p> <p>①チームでの話し合い</p> <p>②個人で学習カードに記入</p> <p>③学習のまとめ (成果と課題)</p> <p>④発表をする</p> <p>片付け</p> <p>クールダウン</p> <p>あいさつ</p>	<p>○学習カードの項目に沿ってまずはチームで反省を行い、同じことを記入するように伝える。最後の個人の課題は、チームの課題を克服するために自分がどうなればよいのかということ自分で考えて書くように伝える。</p> <p>○「何が、どのように」と、具体的に書くことができるよう声をかけて回る。</p> <p>○本時のめあてに対して、他のチームがどのように振り返りをしているのかをよく聞くように伝える。また、新たな課題にも気付くことができるようにするために、チームごとの課題を学級全体で共有しあう場を設ける。</p> <p>○安全に留意させ、役割分担をして素早く片づけさせる。</p> <p>○怪我の有無を確認するとともに使った部位を中心にほぐすよう指導する。</p> <p>① 伸び ② 肩回し ③ 手首足首 ④ 深呼吸</p> <p>○毎時間、元気よく挨拶をして終わることができるよう伝える</p>

※学習カードはホームページに載っています。